

職員の新型コロナウイルス感染症患者の発生について（報告）

本日、燕・弥彦総合事務組合の職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたのでお知らせいたします。

当該職員は、当該家族の感染の可能性が疑われた時点から自宅待機をしており、当該職員が勤務する職場において、発熱等の体調不良を訴えている職員はおりませんので、通常どおり業務を行います。

なお、各庁舎や施設では、定期的に消毒をしており、引続き感染予防と感染拡大の防止に努めてまいります。

【概要】

1. 判明日 令和4年4月14日(木)
2. 年代別等 30歳代職員
3. 経過説明 3月30日(水)当該職員の家族が通う施設の関係者から感染が確認されたため以後、自宅待機とする
4月2日(土)当該職員の家族が発熱。陽性が判明
4月6日(水)当該職員の家族が発熱。陽性が判明
4月13日(水)当該職員に喉の違和感があり、PCR検査を実施。
4月14日(木)当該職員のPCR検査の結果、陽性と判明する。

令和4年4月14日

燕・弥彦総合事務組合

管理者 燕市長 鈴木 力